

経営効率化の取り組み

本町が目標とする経営効率化目標は、次のとおりです。

1. 経営効率化の推進 全職員が積極的営業活動を展開し、ガス販売量の増加を図る中、経営効率化による経営体質の強化サービスの向上及びガスの安定供給、保安の確保に努めてまいります。	達成状況の内容
	ガス販売量 平成27年度 177,835m ³ 平成28年度 178,271m ³ 平成29年度 223,565m ³ 当期利益又は損失 平成27年度 △ 64,775千円 平成28年度 1,787千円 平成29年度 4,093千円
2. 経営基盤の強化 (1) 需要の拡大 熱量変更による新機種の器具販売が可能となったことから、積極的な営業活動を展開し、ガス販売量の増加による収益の向上を図ります。 (2) 設備投資の抑制 熱量変更により、経年管取替費の軽減が可能となり、設備投資の抑制を図り、効率の良い投資をおこないます。	達成状況の内容
	ガス売上 平成27年度 69,897千円 平成28年度 73,892千円 平成29年度 89,721千円 経年管関係 平成27年度 80A・100Aを50A・75Aに 平成28年度 100A・125Aを50A～100Aに 平成29年度 80A・125A・150Aを50A・100Aに
3. 保安の向上 (1) 経年本支管取替促進 計画的な経年本支管の取替えを実施し、耐震・耐食性に優れたポリエチレン管を使用し、保安の確保に努めてまいります。 (2) 経年埋設内管取替促進 需要家との接点機会を利用し、経年埋設内管の取替の必要性を説明し、取替促進に力を入れると共に、耐震・耐食性に優れたポリエチレン管を使用し、保安の確保に努めてまいります。	達成状況の内容
	経年本支管対策量 平成27年度 901m 平成28年度 689m 平成29年度 635m 経年埋設内管対策量 平成27年度 20件 平成28年度 28件 平成29年度 1件